

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

和歌山県

人口	901,193 人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	891,161 人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	4,724.66 km ²	実質公債費比率	10.8 %
歳入総額	662,035,723 千円	将来負担比率	200.3 %
歳出総額	644,047,629 千円	グループ	R02 D R03 D R04 D
実質収支	9,713,885 千円	(年度毎)	R05 D R06 D
標準財政規模	310,205,791 千円		
地方債現在高	1,061,915,409 千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

令和6年度の歳出決算総額に対する住民一人当たりのコストは、715千円となっており、前年度の666千円と比べ49千円の増加となっている。前年度との比較では、補助費等がコスモパーク加太対策関連経費の増加等により24,022円の増加、人件費が県人事委員会勧告に伴う給与改定や定年引上げに伴う定年退職者の増加による退職手当の増加等により15,089円の増加となっている。一方、普通建設事業費が道路改良事業等の公共事業等の減少等により965円の減少、貸付金が中小企業融資制度貸付金の減少等により627円の減少となっている。